

法政大学大学院

人間社会研究科

Hosei University Graduate School

●修士課程

福祉社会専攻

●修士課程

臨床心理学専攻

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

●博士後期課程

人間福祉専攻

Social Well-being Studies

法政大学 2025

“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”（Life）をトータルに捉えた教育研究によって、高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONALの育成をめざします。

■ 専任教員 人間社会研究科（2024年度）



丹羽 郁夫 教授
(にわい くお)

臨床心理学 人間福祉

人間社会研究科長

研究領域：臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法治療
担当科目：「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）」「臨床心理実習Ⅱ」「臨床心理学特論Ⅰ」「臨床心理学系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「コンサルテーションとコラボレーション」（共著、金子書房）、「コミュニティ心理学入門」（共著、ナカニシヤ出版）、「よくわかるコミュニティ心理学」（共著、ミネルヴァ書房）、「心理学の支援法」（共著、北大路書房）
学会活動：日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会（理事、編集委員）、日本遊戯療法学会、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会



岩崎 晋也 教授 (いわさき しんや)

福祉社会 人間福祉

研究領域：社会福祉原論
担当科目：「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「援助するということ」（共著、有斐閣）、「社会福祉をつかむ」（共著、有斐閣）、「福祉原理—社会はなぜ他者を援助する仕組みを作ってきたのか」（単著、有斐閣）
学会活動：日本社会福祉学会、社会政策学会、社会事業史学会

博士（人間福祉）



岡田 栄作 准教授 (おかだ えいさく)

福祉社会

研究領域：福祉疫学、高齢者福祉、ヘルスプロモーション
担当科目：「福祉社会研究法Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「ソーシャル・キャピタルと健康・福祉」（共著、ミネルヴァ書房）、「住民主体の楽しい「通いの場」づくり」（共著、日本看護協会出版会）
学会活動：日本公衆衛生学会、日本社会医学学会、日本計量生物学会、日本疫学会、日本社会福祉学会、日本栄養改善学会

博士（医学）



金築 優 教授 (かねつき まさる)

臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、認知行動療法
担当科目：「臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ」「心の健康教育に関する理論と実践」「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）」「臨床心理実習Ⅱ」「臨床心理学系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果」（共著、感情心理学研究17(3)）2010年、「感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版 Affective Control Scale の作成を通して—」（共著、感情心理学研究18(1)）2010年他
学会活動：日本認知・行動療法学会、日本感情心理学会、日本心理学会、International Association for Perceptual Control Theory等

博士（人間科学）

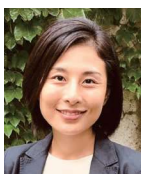


久保田 幹子 教授 (くぼた みきこ)

臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、心理療法（森田療法、カウンセリングなど）
担当科目：「臨床心理基礎実習」「臨床心理学系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「臨床精神医学講座5 神経症性障害・ストレス関連障害」（共著、中山書店）、「心理療法ブリーフケース「森田療法」」（共著、ミネルヴァ書房）、「こころの医学事典」（共著、講談社）、「カウンセリングプロセスハンドブック」（共著、金子書房）、「女性は何で生きづらいのか」（共著、白揚社）他
学会活動：日本森田療法学会（副理事長、研修委員、編集委員）、日本サイコロピー学会（理事、編集委員）、日本心理臨床学会等

博士（学術）



小林 由佳 准教授 (こばやし ゆか)

臨床心理学 人間福祉

研究領域：産業精神保健学、臨床心理学（産業・組織）
担当科目：「臨床心理学研究法特論」「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」「臨床心理学特論Ⅱ」「臨床心理学系（心理・地域）特殊講義」
主な著書：「産業心理職のコンピテンシー その習得、高め方の実践的・専門的方法」（共編著）川島書店、「心理療法ブリーフケース「森田療法」」（共著、ミネルヴァ書房）、「こころの医学事典」（共著、講談社）、「カウンセリングプロセスハンドブック」（共著、金子書房）、「女性は何で生きづらいのか」（共著、白揚社）他
学会活動：日本産業ストレス学会（常任理事）、日本産業精神保健学会（編集委員）、日本産業衛生学会（編集委員）、日本産業・組織心理学会、日本認知・行動療法学会、日本心理学会等

博士（医学）

修士課程

福祉社会専攻

修士課程

臨床心理学専攻

公認心理師（国家資格）受験資格取得に要する科目を開設
（財）日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

人間福祉専攻



伊藤 正子 教授 (いとう しょうこ)

福祉社会 人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助
担当科目：「ソーシャルワーク理論研究特論」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「生活支援の福祉学」（共著、有斐閣）、「くつながら」の社会福祉—人びとのエンパワメントを目指して—（共著、生活書院）、「ソーシャルワークの「基本」再考—ソーシャルワーク倫理原則のグローバル声明にみる価値転換—」（医歯と福祉、70、2022年）
学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、東京都医療ソーシャルワーカー協会、日本移民政策学会

博士（社会福祉学）



岩田 美香 教授 (いわた みか)

福祉社会 人間福祉

研究領域：子ども・家族福祉論、教育福祉論
担当科目：「児童福祉特論」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「現代社会の育児不安」（単著、家政教育出版社）、「福祉国家と家族」（共著、法政大学出版局）、「社会的孤立問題への挑戦」（共著、法律文化社）、「現代社会と子どもの貧困」（共著、大月書店）、「子ども家庭福祉」（共著、生活書院）他
学会活動：日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本子ども家庭福祉学会、日本家族社会学会、日本司法福祉学会、貧困研究会等

博士（教育学）



小野 純平 教授 (おの じゅんぺい)

臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学
担当科目：「臨床心理学査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）」「臨床心理学査定演習Ⅱ」「臨床心理学系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「公認心理師の基礎と実践18巻「発達障害の理解と支援」」（共著、遠見書房）、「日本版KABC-Ⅱによる解釈の進め方と実践事例」（共著、丸善出版）、「臨床心理学30章」（共著、日本文化科学社）
学会活動：日本K-ABCアセスメント学会（理事長）、日本公認心理師学会、日本心理臨床学会、日本内観学会、日本LD学会等

博士（教育学）



金 慧英 専任講師 (きむ へん)

福祉社会

研究領域：高齢者福祉、介護専門職の支援、国際比較
担当科目：「福祉社会研究法Ⅰ」「地域共生社会特論」
主な著書：「韓国の災害福祉の現状と課題—コロナ禍における高齢者の社会的孤立を防ぐ取り組みを中心に」（単著、関西学院大学災害復興制度研究所14）2022年、「介護職員のバーンアウト要因についての考察：職場環境の管理体制に着目して」（共著、Human Welfare、Vol 11(1)）2019年他
学会活動：日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本老年社会学会、日本介護福祉学会

博士（人間福祉）



高良 麻子 教授 (こうら あさこ)

福祉社会 人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論、ソーシャルアクション
担当科目：「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「日本におけるソーシャルアクションの実践モデル—「制度からの排除」への対処」（単著、中央法規出版）、「独立型社会福祉士—排除された人びとの支援を目指して—」（単編著、ミネルヴァ書房）、「ジェネラリスト・ソーシャルワークを実践するために—スカラーソーシャルワーカーの事例から—」（共編著、かもがわ出版）、「地域共生社会に向けたソーシャルワーク—社会福祉士による実践事例から—」（共編著、中央法規出版）
学会活動：日本社会福祉学会理事、日本ソーシャルワーク学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本社会福祉士会、日本ソーシャルワーカー協会

博士（ソーシャルワーク）



佐藤 蘭美 教授 (さとう まゆみ)

福祉社会 人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論（特に死別ケアを中心として）、当事者および家族への支援（セルフヘルプ・グループを中心として）
担当科目：「ソーシャルワーク特論Ⅰ」「ソーシャルワーク・スーパービジョン」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書：「自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク」（単著、明石書店）、「自閉症と発達障害者の進歩2006 Vol.10」（共著、星和書店）
学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等

博士（人間福祉）



Ph.D.(Knowledge Management)

佐野 竜平 教授 (さの りゅうへい) ※1

福祉社会

人間福祉

研究領域: アジアの障害インクルーシブな国際協力、障害者の暗黙知、障害者権利条約、人馬のウェルビーイング
担当科目: 「障害と開発特論」「地域共生社会特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「循環型人材確保・育成とベトナムとの国際協力」(編著、クリエイツかもがわ)「An Introduction to Human Rights in Southeast Asia Vol.3」(共著、ASEAN University Network-Human Rights Education/SHAPE-SEA)「Picture Book United Nations Convention on the Rights of Persons with Disabilities」(編集、汐文社)等
学会活動: Global Alliance for Public Relations and Communication Management ワークアリビリティジャパン等



博士(経済学)

眞保 智子 教授 (しんぼ さとこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 若者支援論、就労支援、障害者のキャリアデザイン
担当科目: 「障害者福祉特論」「精神保健福祉特論」「地域共生社会特論」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「就労支援サービス」(共著、株式会社みらい)、『グローバル時代の社会学—社会学の視点で読み解く現代社会の様相—』(共著、株式会社みらい)、『キャリアデザイン支援ハンドブック』(共著、ナカニシヤ出版)、『三訂版障害者雇用の実務と就労支援「合理的配慮」のアプローチ』(単著、日本法令)
学会活動: 日本労務学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会、日本社会福祉学会



博士(学術)

末武 康弘 教授 (すえたけ やすひろ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 臨床心理学、心理学の支援法、カウンセリング・心理療法
担当科目: 「臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)」「臨床心理面接特論Ⅱ」「臨床心理基礎実習」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「ロジャース主要著作集(全3巻)」(共訳、岩崎学術出版社)、『ジェンドリン哲学入門』(共編著、コスモスライブラリー)、『主観性を科学化する』質的研究法入門』(共編著、金子書房)、『心理学的支援法』(誠信書房)、『プロセスモデル』(共訳、みすず書房)
学会活動: 日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling



博士(教育学)

杉浦 ちなみ 専任講師(すぎうら ちなみ)

福祉社会

研究領域: 社会教育学、地域文化論
担当科目: 「地域文化と教育特論」「地域共生社会特論」
主な著書: 「地域文化の「伝承」概念に関する理論的検討—社会教育研究の視点から」(単著、石巻専修大学研究紀要) 33巻、『震災伝承を考える—東北の伝承施設から』(単著、月刊社会教育) 65巻1号、『1980年代の郷土教育をめぐる論争と実践—鹿兒島県を事例に』(単著、教育学研究) 87巻4号、『奄美大島の公民館における島唄教室開設の過程—1970-80年代における地域文化の学習機運の高まりを背景に』(単著、東京大学大学院教育学研究紀要) 59巻、『地域に根ざす民衆文化の創造—「常民大学」の総合的研究』(共著、藤原書店)、『成人教育と文化の発展』(共訳、東洋館出版社)
学会活動: 日本教育学会、日本社会教育学会、教育史学会、日本社会学会、日本民俗学会、日本文化政策学会



博士(農学)

関司 直也 教授 (ぐさし なおや) ※1

福祉社会

人間福祉

研究領域: 農業経済学、農山村政策論
担当科目: 「内発的農村発展特論」「地域共生社会特論」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「農村発イノベーション」を現場から読み解く』(筑波書房)、『新しい地域をつくる』(共著、岩波書房)、『就村からなりわい就業へ』(筑波書房)、『内発的農村発展論』(共著、農林統計出版)他
学会活動: 日本農業経済学会、農業問題研究学会、農村計画学会、日本村落研究学会



医学博士

関谷 秀子 教授 (せきや ひでこ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 児童青年精神医学、精神分析学
担当科目: 「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)」「臨床心理実習Ⅱ」「精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)」「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
学会活動: 精神分析学会(認定精神療法医、認定スーパーバイザー)、思春期青年期精神医学学会(運営委員)、児童青年精神医学学会(児童青年精神医学認定医)、日本精神神経学会(専門医、指導医)、日本心理臨床学会等



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき)

福祉社会

研究領域: 異文化コミュニケーション、英語教育、経済学(マーケティング)
担当科目: 「原書読訳研究」
主な著書: 「日本実用英語検定3級対応リスニング・テープ」(単著、旺文社1997年)
学会活動: 法政大学英文学会



博士(商学)

土肥 将敦 教授 (どい まさあつ) ※1

福祉社会

人間福祉

研究領域: ソーシャル・イノベーション、社会的企業者、CSR、企業と社会
担当科目: 「ソーシャル・イノベーション特論」「福祉社会研究法Ⅰ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「社会的企業者—CSIの推進プロセスにおける正統性」(単著、千倉書房)、『ビジネスの形態 B Corp入門』(監訳、ニュートンプレス)、『ソーシャル・イノベーションの創出と普及』(共著、NTT出版)、『ソーシャル・エンタプライズ論』(共著、有斐閣)、『ソーシャル・エンタプライズ—社会的企業の台頭』(共著、中央経済社)他
学会活動: 組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム



博士(人間科学)

野田 岳仁 准教授 (のだ たけひと) ※1

福祉社会

人間福祉

研究領域: 環境社会学、地域社会学、観光社会学
担当科目: 「環境社会学特論」「福祉社会研究法Ⅰ」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「井戸端からほじまる地域再生」(単著、筑波書房)、『Everyday Life-Environmentalism』(共著、Routledge)、『生活環境主義のコミュニティ分析』(共著、ミネルヴァ書房)、『原発災害と地元コミュニティ』(共著、東信堂)、『Rebuilding Fukushima』(共著、Routledge)、『環境社会学の考え方』(共著、ミネルヴァ書房)
学会活動: 日本社会学会、環境社会学会、日本村落研究学会、水資源・環境学会(理事)



教育学博士

服部 環 教授 (はっとり たまき)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 教育心理測定学、心理データ解析
担当科目: 「データ分析法」「臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「心理・教育のためのRによるデータ解析」(単著、福村出版)、『文系のためのSPSSデータ解析』(共著、ナカニシヤ出版)、『読んでわかる心理統計法』(共著、サイエンス社)、『IQ & A心理データ解析』(共著、福村出版)
学会活動: 日本教育心理学会、日本テスト学会(理事長)、K-ABCアセスメント学会(副理事長)、日本心理学会、日本応用心理学会



博士(人間科学)

布川 日佐史 教授 (ふかわ ひさし)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 公的扶助、社会政策
担当科目: 「ソーシャルポリシー特論」「地域共生社会特論」「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「生活保護の論点」(単著、山吹書店)、『現代の貧困と公的扶助』(共著、高倉出版)、『雇用政策と公的扶助の交錯』(共著、御茶の水書房)、『就労支援』(共著、ミネルヴァ書房)、『Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung』Nomos Verlag (共著)
学会活動: 貧困研究会、社会政策学会



博士(学術)

水野 雅男 教授 (みずの まさお) ※1

福祉社会

人間福祉

研究領域: 都市住宅政策論、市民活動運営論
担当科目: 「住宅政策特論」「地域共生社会特論」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「地方都市の再生戦略」(川上光彦編共著、学芸出版社)、『生活景』(日本建築学会編共著、学芸出版社)、『農山漁村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的な研究』(農林水産政策研究所レビュー第65号)他
学会活動: 日本建築学会、日本都市計画学会、地域安全学会



博士(社会福祉学)

宮城 孝 教授 (みやしろ たかし)

福祉社会

人間福祉

研究領域: 地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
担当科目: 「地域福祉特論」「地域共生社会特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「イギリスの社会福祉とボランティアセクター」(単著、中央法規)、『コミュニティソーシャルワーク』(編著、有斐閣)、『ソーシャルワークと社会開発—開発的ソーシャルワークの理論とスキル—』(監訳、丸書出版)、『コミュニティソーシャルワークの新たな展開—理論と先進事例—』(編著、中央法規)、『仮設住宅その10年—陸前高田における被災者の暮らし—』(編著、お茶の水書房)、『住民力—超高齢社会を生き抜くチカラ—』(単著、明石書店)他
学会活動: 日本地域福祉学会、日本社会福祉学会等



博士(学術)

望月 聡 教授 (もちづき さとし)

臨床心理学

人間福祉

研究領域: 神経心理学、認知行動病理学
担当科目: 「教育心理学特論」「認知心理学特論」「臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」
主な著書: 「臨床心理学研究法特論(18)」(共編著、放送大学教育振興会)、『スタンダード臨床心理学』(分担執筆、サイエンス社)、『高次脳機能障害 Q & A 症候群』(分担執筆、新興医学出版社)、『心理学の「現在」がわかるブックガイド』(共著、実務教育出版)
学会活動: 日本神経心理学学会(評議員)、日本高次脳機能学会(代議員)、日本心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本心理臨床学会、日本感情心理学会(編集委員)



博士(学術)

山本 五郎 教授 (やまもと ごろう)

福祉社会

研究領域: コーパス言語学、英語学、辞書学、英語教授法(TESOL)
担当科目: 「学術英語」
主な著書: 「ウィズダム英和辞典第4版」(共著、三省堂)、『English on Screen: Learning Real English Through Erin Brockovich』(映画エリン・ブロコビッチ)で学ぶ実践英語の基本』(共著、金星堂)、『Global Issues Towards Peace DVDで学ぶ共存社会—グローバル時代を考える』(共著、南雲堂)、『見て学ぶアメリカ文化と英語文化』(共著、近代映画社)、『映画で学ぶ英語学—English Linguistics Through Movies』(共著、くろしお出版)、『Step Up With Movie English』(共著、金星堂)
学会活動: 映画メディア英語教育学会、英語コーパス学会、大学英語教育学会、日本メディア英語学会、日本語用論学会

福祉社会専攻担当

福祉社会

臨床心理学専攻担当

臨床心理学

人間福祉専攻担当

人間福祉

※1 2025年度以降に修士課程で「論文指導」を希望する場合、地域創造インスティテュート(学位:修士「学術」)に出席してください。

福祉社会専攻

修士課程

Major in Social Policy and Community Development

本専攻では、一人ひとりの Well-being の実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、政策立案者、自治体職員等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系、研究基盤の4つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー（一部抜粋）

専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法Ⅰ
- ・福祉社会研究法Ⅱ
- ・地域共生社会特論
- ・社会福祉学特論

※各科目すべて2単位

専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

【ソーシャルワーク系】

- ・ソーシャルワーク理論研究特論
- ・ソーシャルワーク実践研究特論
- ・生活問題特論

【システム・マネジメント系】

- ・ソーシャルポリシー特論
- ・保健医療福祉システム特論
- ・福祉経営特論

【コミュニティ・デザイン系】

- ・内発的農村発展特論
- ・地域文化と教育特論
- ・環境社会学特論

【研究基盤】

- ・原書講読研究
- ・学術英語
- ・データ分析法

※各科目すべて2単位

演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

多様な学びの内容と 機会が増えました

社会人学生が自らの実践現場を活かした学びを展開できるように、科目についての内容を見直し、また対面とオンライン併用のハイフレックスによる科目も増えました。さらに、市ヶ谷キャンパスにおける科目展開や長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えていますので、ご自身のライフスタイルに合わせて仕事をつづけながら研究活動に取り組むことができます。

≫ 修士生の研究テーマ（抜粋）

- ・学校における子どもの課題解決に関する考察
— 養護教諭の「ケース化」をめぐる検討 —
- ・在宅で生活する知的障害者の孤立に関する研究
— 家族を失った知的障害者に対する支援事例から —
- ・大都市における生活困窮者の生活支援と就労支援について
- ・中・軽度知的障害者の青年期における親子依存関係からの脱却に向けた要因と支援のあり方
- ・主介護者による在宅介護におけるリスクの構造とリスクマネジメントに関する研究
- ・大震災時の復興過程における知的障害者に対するソーシャルワークの役割と課題
- ・外国人介護職員に対する支援のあり方について
— 一定住外国人介護職員を長年受け入れている施設の取り組みから —
- ・大学生等の世帯分離に内在する矛盾と世帯への影響に関する研究
- ・独居高齢者のライフエンディング・ステージにおける準備行動についての研究
— 独居高齢者へのインタビュー調査の分析を通じて —
- ・仮設住宅の収容期における居住者の生活の現状とその支援のあり方
— 岩手県陸前高田市における調査を通して —

Message



▶ 教員

佐藤 繭美 教授

研究領域：グリーンケア、死別ケア、セルフヘルプグループ、自閉症者と家族支援

私が研究者になったのは、卒論調査でお会いした障がいのある方のご家族の言葉がきっかけです。「この子を遺して死ぬことができません」といわれたことは今でも鮮明に覚えています。安心して死ぬことができない、とはどういうことなのか。その言葉を紐解くべく、研究を重ねてきました。今でも当事者の方たちに教わり、日々学びの途上です。私のゼミでは、中国からの留学生、社会人の院生などが在籍しています。院生はたくさんのフィールドに出ていくなかで、論文執筆を進めています。ぜひ、ご自身の人生に大学院生生活という一歩を加えてみるのはいかがでしょうか。



▶ 在学生

チン イケイ さん

2023年度入学

福祉に興味があるため、留学生の一人として人間社会研究科に入学しました。本専攻で多くの分野にわたる知識を持つ先生方に懇切丁寧な指導をいただいたり、同級生のみんなと課題について議論したりして、多様な価値観に触れ合うことが増えました。校外フィールドの機会もたくさんあり、日々の勉強と交流を通して視野を広げることができました。学びを機に、私は自分の中に根付いていた「優生思想」に気づき、現在女性障害者に関する研究を行っています。大学院は人を成長させる場所だと思います。皆さんと一緒に学べることを楽しみにしております。



▶ 修士生

山崎 禎広 さん

2020年度修了
法政大学現代福祉学部 助教

私は元々地方自治体に勤めておりましたが、高齢者支援についてより深く学び研究したいと考え、2019年に本研究科に入学しました。在学中には、高齢者における人生の最終期の支援に関するテーマで修士論文を執筆し、現在は大学で教員をしています。本専攻は、社会福祉領域はもちろんのこと、地域づくりや国際協力など幅広い研究の領域を持つ教授が所属しており、多様な視点から研究を深めることができます。また、学生の研究テーマも多様であり、学生間でも充実した議論ができることも魅力です。少しでも興味がある方は、ぜひ本専攻の門を叩いてみてください。

臨床心理学専攻

Major in Clinical Psychology

修士課程

公認心理師(国家資格)受験資格取得に要する科目を開講
(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての公認心理師と臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

専門基幹科目 (全必修16単位)

臨床心理学全般の学習、カウンセリングや種々の臨床心理学査定法等について学ぶ

- ・臨床心理基礎実習②
- ・臨床心理学特論Ⅰ②
- ・臨床心理学特論Ⅱ②
- ・臨床心理面接特論Ⅰ
(心理支援に関する理論と実践)②
- ・臨床心理面接特論Ⅱ②
- ・臨床心理査定演習Ⅰ
(心理的アセスメントに関する理論と実践)②
- ・臨床心理査定演習Ⅱ②
- ・臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習)①
- ・臨床心理実習Ⅱ①

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受理解、心理査定、心理面接を行う

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目の学習と臨床心理実習をより深く展開するために専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

1. 研究法科目：臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目
・心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論
2. 基礎心理科目：臨床心理の基礎となる心理学科目
・認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論
3. 家族・社会心理科目：家族や社会の心理的問題を探究する科目
・社会病理学特論・家族心理学特論・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)
4. 関連専門領域科目：臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目
・精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)・障害者(児)心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)・産業・労働分野に関する理論と支援の展開・児童福祉特論・高齢者福祉特論
5. 専門技能科目：臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目
・教育分野に関する理論と支援の展開・グループ・アプローチ特論・家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践・投映法特論・心の健康教育に関する理論と実践・力動的心理学療法特論・心理療法特論・心理臨床演習・医療心理学特論

※科目は全て2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に収めるよう個別指導を行う

- ・論文研究指導④

※○数字は単位数

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・在宅介護・看取りを行った家族の喪失体験の意味づけ
ー在宅介護・看取りの経験が与える影響に着目してー
- ・ASD傾向、ADHD傾向を有する場合のストレス対処行動及び愛着スタイルが精神健康度に与える影響について
- ・内観療法における心理的変容のプロセスー愛着スタイルを中心にー
- ・大学生アスリートにおける受傷体験と反すうの関連性
- ・マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果
ー孤独に対する捉え方に着目してー
- ・ワーク・ライフ・バランスの観点から見たワーク・エンゲイジメント促進要因の検討
ー仕事と家庭に関する価値観とコンフリクトに焦点を当ててー
- ・大学生の恥意識についての研究
ー対人恐怖心性と回避的傾向、及び心理的自立との関連からー
- ・入院森田療法患者の体験分析
- ・心理士の職業的発達に影響を及ぼす体験について
ー自己変容との関連からー
- ・アタッチメントと長期恋愛経験からみる青年の自己愛的脆弱性と自尊感情
ー大学入学時からの変化に着目してー
- ・コンパニオン・アニマルが飼育者に及ぼす心理的影響の検討
- ・精神疾患の親をもつ子どものリカバリーに関する研究
- ・レジリエンスがゆるい傾向性および罪悪感を介して主観的幸福感に及ぼす影響
- ・twitter 依存とメンタルヘルスとの関連について
ー愛着と自己愛からの検討ー

Message



▶ 教員

望月 聡 教授

研究領域：神経心理学、
認知行動病理学

臨床心理学専攻では、臨床心理学や精神医学を専門とし、第一線で活躍する教授陣が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院・クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意し、2018年4月からは公認心理師(国家資格)の受験資格取得に必要な科目を開講しています。本専攻では、これらの専門的・実践的な学びを通して、社会的ニーズに応えられる、心のケアの専門家としての公認心理師や臨床心理士の養成に取り組んでいます。多くの方々からの積極的なチャレンジを期待しています。



▶ 在学生

薬品 水青 さん

2023年度入学

私は、大学生の対人葛藤場面における対処方略について研究をしています。本専攻の魅力は、様々な領域での第一人者である先生方から指導を受けることができ、興味の幅が広がる点、学内外での実習を通して臨床現場での支援も学べる点です。大変なことも多いですが、知りたいことを深め、理論だけでなく実践についても学び考える大学院生活はこれからの自分を支える糧になると思っています。また、困った時には相談できる仲間、先輩、先生方がいるので、ここまで無事に一緒に学べたことを心よりお待ちしております。



▶ 修了生

五十嵐 瑞穂 さん

2017年度修了

医療法人社団哺育会
横浜相原病院 心理療法科
主任 臨床心理士 公認心理師

私は現在、精神科の病院で心理検査や心理面接等を主な業務として勤めており、職場の机には大学院で学んだ頃の資料が今も置いてあります。臨床心理学専攻では現場経験の豊富な先生方に研究室の垣根を越えてご指導頂くことが出来るため、心理支援の技術や論文作成に関わるデータ分析、心理職として求められる姿勢等、幅広い分野を自由に学ぶことが出来ました。修了後にも交流や研鑽の機会が設けられている点も本学の魅力です。今後、大学院での経験をもとにスキルを磨き続け、心理支援に役立てていきたいと思っています。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in Social Policy, Community Development, Clinical Psychology

人間社会を構成する生活者の Well-being を実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティマネジメント」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(Life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム・ツリー (一部抜粋)

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

- | | | |
|-------------|--------------|--------------------|
| ・福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅰ |
| ・福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・臨床心理系(心理・地域)特殊講義Ⅱ |
| ・福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅰ |
| ・福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・臨床心理系(病理・発達)特殊講義Ⅱ |
| ・福祉臨床系特殊講義Ⅰ | | |
| ・福祉臨床系特殊講義Ⅱ | | |

※各科目すべて2単位

必修科目

個々の研究課題に沿って、修士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・人間福祉特別演習Ⅰ
- ・人間福祉特別演習Ⅱ
- ・人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・生活保護法準用措置による外国人保護実施過程の分析 ―形成・展開・境界―
- ・構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ・ソーシャルワーカーの自己生成過程における専門的自己の構築と解体 ―中動態から生起する臨床体験―
- ・地域主義にもとづく文化財保存と活用に関する研究 ―文化財を核としたコミュニティの生成と活動を視野に―
- ・居住に困難を抱える単身高齢者の居住支援におけるコミュニティソーシャルワークの意義と機能

Message



▶ 教員

佐野 竜平 教授

研究領域：
アジアの障害インクルーシブ
な国際協力・開発、循環型経済、
障害者の暗黙知、障害者権利条約

社会福祉、コミュニティ・マネジメント、臨床心理の観点を網羅しつつ、「Well-being」のあり方を徹底的に追いつめようというのが本専攻の特色です。社会課題に対する「問い」を学術的な観点から設定し、論文執筆を通じてその答えを見出していくプロセスは、まさに今日必要とされる新たな発想の創出につながるものです。ユニークな背景を持つ教員が揃っており、手厚い学びの機会が得られるようにデザインされています。流行りの言葉や表面上の答えではない、社会課題の解決に向けた手立ての本質を見出していく力を、当専攻での研究を通じて育んでみませんか。



▶ 在学生

竹内 壮志 さん

2021年度入学

私は精神科医療機関のソーシャルワーカーとして勤務しています。現場実践しながら博士後期課程で研究することは無謀な挑戦かもしれませんが、実践の中で研究課題を焦点化し探求する、研究から得られた知見を実践に活かす、この循環の中で自己の知識や技術を高めることができるのは何ものにも代えがたい経験です。何より、先生方のご理解と暖かく熱心なご指導、共に励まし学び合う院生の仲間たち、支えてくださる事務課の皆さまや充実した大学環境のおかげでここまで続けることができました。私たちと一緒に、社会課題に、そして自分自身に挑戦してみませんか。



▶ 修了生

洪 心璐 さん

2020年度修了
大妻女子大学人間関係学部
人間福祉学科 助教

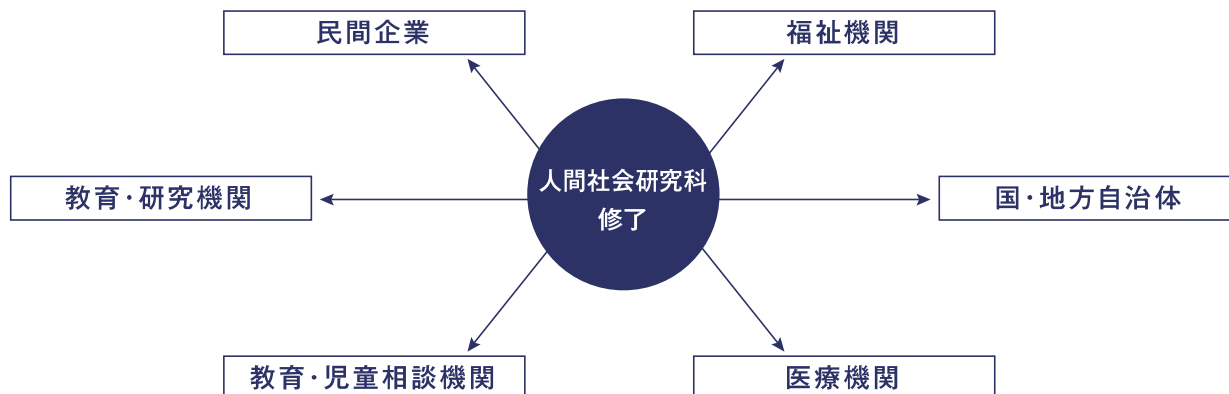
私は日中両国の架け橋になることを目指し、人間社会研究科に入学しました。在学中に、高齢者の居住支援のあり方に関するテーマで博士論文を執筆しました。繰り返し行う指導教官、仲間同士とのディスカッションなどから、論理的に考える思考プロセスを学ぶことができました。このことが今、大学教員として、授業を考えるうえで本当に役立っています。自分らしい生き方について悩んだ時期もありましたが、指導教員はもちろん多くの先生方からの確かなご指導を頂き、進取の意欲に溢れた仲間達と一步一步前へ進み、「その先の自分を創る」ことが出来ました。悩んでいる人こそ、積極的に進学の相談をされることをお勧めします。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去19年間分)

福祉社会専攻 ◎修士課程

・福祉機関	17名
・民間企業	25名
・進学（博士後期課程ほか）	13名
・公務員	7名
・独立行政法人	1名

・団体職員	4名
・社会人入学で修了後も在職	26名
・その他	28名
・研究生	7名
・教員	1名

臨床心理学専攻 ◎修士課程

「公認心理師」資格取得者 2018～2023 年度修了生 75 名受験 73 名合格
「臨床心理士」資格取得者 2004～2022 年度修了生 261 名受験 249 名合格

・医療機関（心理職）	78名
・医療機関	5名
・教育相談機関（心理職）	43名
・スクールカウンセラー	12名
・福祉機関（心理職）	26名
・公務員（含む心理職）	46名

・団体職員	8名
・民間企業（心理職・総合職）	12名
・児童福祉相談所関係（心理職）	21名
・進学（博士後期課程ほか）	10名
・大学学生相談室	3名
・その他	13名

人間福祉専攻 (学位取得者41名) ◎博士後期課程

・私立大学教員	18名
・国立大学教員	1名
・私立大学研究員	4名
・独立行政法人研究員	1名
・医療機関（福祉職）	1名

・教員	1名
・公務員	5名
・団体職員	3名
・その他	4名

※継続在職も含む

キャンパス紹介



多摩キャンパス



院生研究室



講義室



カフェラウンジ



臨床心理相談室

◀ 臨床心理学専攻の学生が公認心理師・臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、公認心理師・臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります！

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度を充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた10大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた13大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を履修できる単位互換制度を設けています。

首都大学院コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、ルーテル学院大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院、日本大学大学院

≫ 入試日程および選抜方法 【※詳細は入学試験要項にてご確認ください】

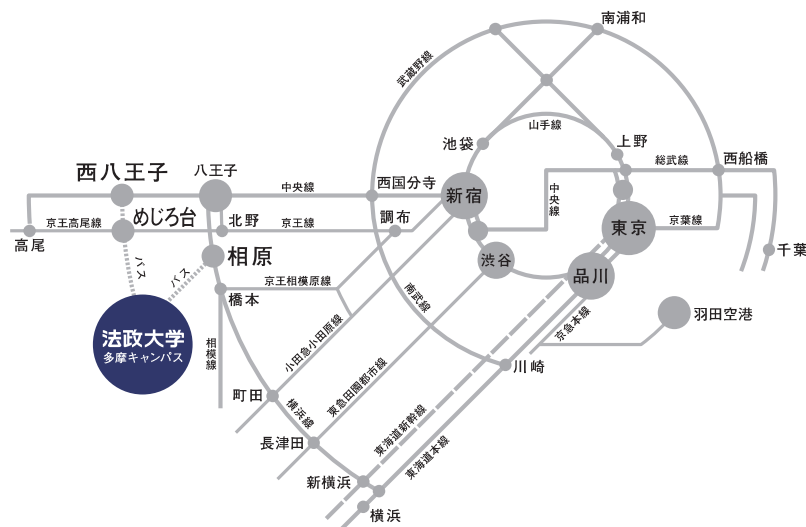
専攻	募集定員	入試経路	出願期間	筆記試験日	口述試験日	最終合格発表	選抜方法
福祉社会	15名	一般社会人	2024年 8月23日(金)～8月30日(金)	9月22日(日)	9月22日(日)	10月 4日(金)	一般 ▶ 筆記試験(英語・専門科目)および口述試験(面接) ※英語は英和・英英辞典持込参照可
		外国人留学生	2024年 8月16日(金)～8月23日(金)	9月22日(日)	9月22日(日)	10月 4日(金)	社会人 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接)
		一般社会人	2025年 1月15日(水)～1月22日(水)	2月22日(土)	2月22日(土)	2月27日(木)	外国人留学生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による
		外国人留学生	2025年 1月 8日(水)～1月15日(水)	2月22日(土)	2月22日(土)	2月27日(木)	研修生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による
		研修生(留学生含む)	2025年 1月 8日(水)～1月15日(水)	2月22日(土)	2月22日(土)	2月27日(木)	
臨床心理学	15名	秋季 一般	2024年 8月23日(金)～8月30日(金)	9月22日(日)	9月25日(水)	10月 4日(金)	第一次審査 ▶ 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※英語は英和辞典のみ持込参照可
		春季 一般	2025年 1月15日(水)～1月22日(水)	2月22日(土)	2月25日(火)	2月27日(木)	第二次審査 ▶ 口述試験(面接)〔筆記試験合格者のみ〕
人間福祉	5名	春季 一般	2025年 1月15日(水)～1月22日(水)	2月22日(土)	2月22日(土)	2月27日(木)	筆記試験(英語)および口述試験(面接)

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談

2024年度の実施につきましては、原則WEBによる情報発信を行い、大学施設にご来場いただく形式では実施しません。

詳細は以下の法政大学大学院ホームページよりご確認ください。

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>



- JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4047 / FAX.042-783-2808
E-mail:fukushi@hosei.ac.jp

<https://www.hosei.ac.jp/gs/ningenshakai/>

資料請求はこちらへアクセス

<https://www.postin-svr.com/entry/hosei/gs/index.asp>